

業務時間：8：30～17：30

施設案内

休所日：毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

何ができるの？

自然体験活動 団体宿泊訓練 スポーツ
各種研修 ワークショップ 野外プログラム

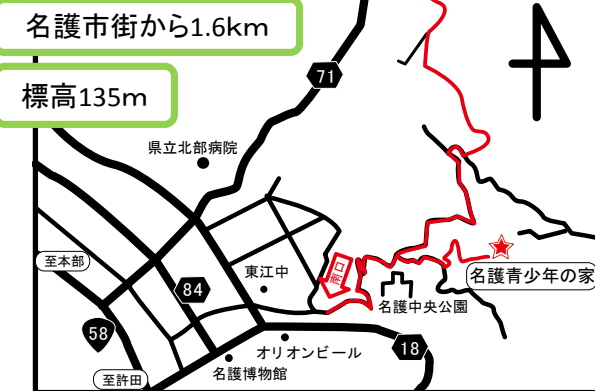
設備は？

キャンプ場 運動広場 天体観測デッキ
ハイキング・登山コース 浴室 食堂
研修室 宿泊室 体育館 講堂

誰でも利用できるの？

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

どこにあるの？



ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。
「空き状況」を確認します(仮予約)。
2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください(本予約)。

3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
 4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。
- ※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。
URL <http://www.opnyc.jp/>

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	野外炊飯 (薪代)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	300円/人	150円/人	50円/人	150円/時間	350円/時間
学生・一般	600円/人	250円/人	50円/人	350円/時間	700円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2013年(平成25年) 7月2日 (火)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
<http://www.opnyc.jp/>

指定管理者

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation



ブログ
も見てね!
QRコード



<http://www.opnyc.jp/staffblog/>

名護青少年の家 かわら版 7月号

写真：夏を感じることのできる花

仏桑花(ぶっそうげ)

ハイビスカス(方言名 アカバナ)

7、8月の予約状況

6月14日に梅雨も明け、いよいよ夏真っ盛りになって参りました。現時点(6月30日)での7、8月の予約状況ですが・・・。おかげさまで土、日曜日に限らず、平日もほぼ満室状態となっております(8月の最終週は多少の空きがあります)。

9月以降(特に土、日曜日)に研修をお考えの方も、早めに名護青少年の家へお問い合わせいただくことをオススメいたします。

研修目的を達成することができるよう、当施設のスタッフが専門知識を活かして指導・サポートいたします。



名護岳に咲く花々

コバノミヤマノボタン(小葉深山野牡丹)
ノボタン科 ハシカンボク属

(Bredia okinawensis)



名護岳ハイキングコースにて(6月21日撮影)

沖縄本島北部(通称:やんばるの森)のみに分布する固有種です。

沖縄県レッドデータブック、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている希少な植物です。

やや明るい半日陰の場所に生えています。高さ数10センチの低木で、6月～7月に花を咲かせます。

似たような種類には、ノボタンとハシカンボクがありますが、ノボタンは花が大きく、花弁が5枚、ハシカンボクは花が咲く時期が7月～3月頃ということと、葉の平行脈がハシカンボクは5～7本、コバノミヤマノボタンは3本ということで見分けがつきます。

小さくてかわいい色の花です。名護青少年の家ではハイキングコースのAコースで見ることができます。

専門職員 宮里 大悟



事業報告

自主事業

慰霊の日の奉仕活動 ～和球の碑清掃～

「二度と悲惨な戦争が起こらないよう恒久平和を祈念するとともに、清掃活動を通して奉仕の精神を養う」ことを趣旨として、6月16日に自主事業「慰霊の日の奉仕活動～和球の碑清掃～」を開催しました。

地元名護市や本部町など北部地域からの参加者の皆さまとともに、掃き掃除や草刈り等を碑の周りを重点的にを行い、「慰霊の日」を前に遺族の方々をお迎えする準備ができました。ありがとうございました。

(事業担当・所長から一言)

暑い中での作業でしたが、参加者同志和気あいあいと楽しく活動することができました。参加者の皆さま、大変お疲れさまでした。

専門職員 神谷

遺族の方々によって定期的かつ組織的に「慰霊祭」が行われていた当時、名護青年の家でも自発的に清掃を行い、遺族の方々をお迎えする活動がありました。しかし現在は下記の通り、慰霊祭も行われず献花もほとんどありません。

本来なら遺族の方々が慰霊をし、私たち職員や地域の人々が御霊を祀ることが趣旨に合った活動だと考えます。次年度からは関係者の伝手を探り、恒久平和を祈念した継続事業としたいものです。

所長 照屋



和球の碑内の清掃を行なう参加者



参加者の皆さま

和球の碑とは・・・

和球の碑(にぎたまのいしぶみ)は、第2次世界大戦(太平洋戦争)末期の昭和19(1944)年6月上旬に、九州5県(熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)出身者で編成された、独立混成第44旅団配下の第2歩兵隊(球7071部隊：通称宇土部隊)の沖縄戦での戦死者約3000名の尊い霊を祀る慰霊の碑です。

昭和59年に33回忌を終えたことを最後に各県持ち回りでの慰霊祭は終了し、その後は慰霊の日の6月23日に合わせて沖縄県和球友の会を中心に他県の希望者と慰霊祭を毎年執り行っていたようですが、月日が経つにつれて関係者も高齢化し、ここ数年間は慰霊祭も行われていないようです。

ちなみに、この碑が昭和40年に建立された翌年、名護青年の家(旧施設)が隣接して建設されたこともあり、当所としては縁を感じる碑なのです。

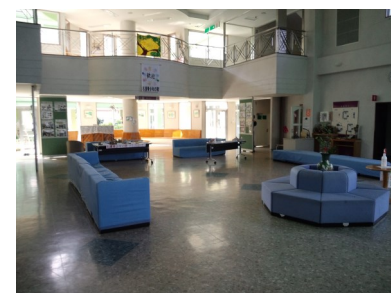


清掃後、きれいになった和球の碑

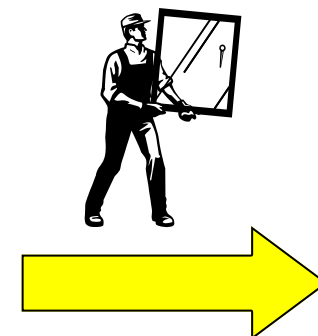
もっと快適な施設を目指して



もっと快適な施設となるように施設の緑化活動に力を入れています。まずは殺風景だったロビーへ当財団の研究第二課(植物専門家の集まり)のアドバイスを受けて、観葉植物を配置し、癒しの空間を演出してみました。いかがでしょうか？



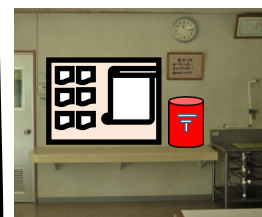
ビフォー



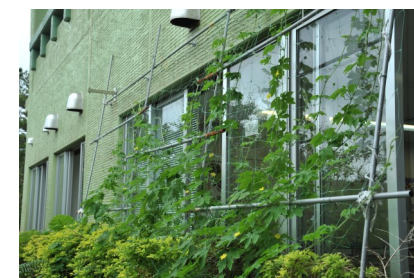
アフター

事務所の窓にはゴーヤ等ウリ科の植物を利用して「グリーンカーテン」を作成中。もちろん作成開始日は平成25年5月8日いわゆる「ゴーヤの日」。

メインはグリーンカーテンですが、副産物？も楽しみです。



そして、利用者の皆さまの意見に耳を傾け、それに応えていくことでもっと使いやすく魅力的な施設にしようと、最近「お客様の声担当」に任命された事務員の宮原も試行錯誤です。(お客様の声担当より一言)



グリーンカーテン生長中



「お客様の声」掲示板(案)

今後もっと良い施設運営のご参考にさせていただきますので、ご利用の際はアンケート調査にご協力よろしくお願いいたします。

事務員 宮原

● 事業案内 ●

～Coming Soon～ 事業の開催延期について

○夏休み宿題お助け隊

・平成25年8月25日(日)

・小学生50名程度

※詳細は別添をご覧ください



○親子ふれあいキャンプⅢ ～名護岳お月見キャンプ～

・平成25年9月21日(土)～22日(日)

・5家族25名程度



6月15日(土)～16日(日)の日程で開催を予定していましたが「ボランティア養成講座」は、都合により延期いたしました。

参加を希望された皆さまには深くお詫び申し上げます。

新たな期日については現在調整中ですが、今年度中の実施を計画しております。

決まり次第、HPや広報誌にてご案内いたします。

